

デザイン科学科

■選考方法

書類審査、課題演習及び面接により、多面的かつ総合的に評価します。

(1)書類審査: 提出された出願書類について審査を行います。

(2)課題演習: 観察に基づく発想力・造形力・表現力・思考力の評価を目的とした課題演習を行います。(90分)

例えば、物体の観察に基づく思考を適切に表現できるかを問う等です。

(3)面接: 個人面接(10～15分程度)

面接内容 ①本学科の志望動機について

②自己評価について

③課題演習について

1日目: 課題演習(90分)

2日目: 個人面接(10～15分程度)

令和3（2021）年度
千葉工業大学 総合型（創造）選抜
創造工学部 デザイン科学科

課題演習

【問題用紙】

試験時間：90分

<注意事項>

試験開始の合図があるまで問題用紙を開かないこと。また、机上にある物品には触れないこと。

試験開始の合図があったら、問題用紙・解答用紙の説明文をよく読んで解答用紙に解答すること。

原則として、物品の再配布は行わない。ただし、試験開始直後に内容を確認し、不足や不具合があった場合は挙手にて申し出ること。

問題用紙の余白にはメモなどを記入してもかまわないが、採点の対象とはしない。解答用紙の余白には記入しないこと。

問題用紙・解答用紙ともに受験番号と氏名を記入すること。

試験終了時に、問題用紙・解答用紙ともに回収する。また、物品も回収するので、課題演習終了後は机上に置いたまま退室すること。

与えられた3種類（A～C、別紙参照）の「はさむ機構を有する物体」（以下、サンプルと呼ぶ）を詳細に観察しながら、以下の課題すべてについて【解答用紙】の所定の欄に解答せよ。その際には、必要に応じて分解や変形などの加工をサンプルに施しても構わない。また机上有る道具は自由に使用してよい。

【課題1】

各サンプルの特徴について、観察や比較によって情報を収集し、以下の要件を踏まえて、わかりやすく記述せよ。

- ① 簡単なスケッチ（イラスト）を描くこと。伝えたい情報に応じて、スケッチ（イラスト）を複数示してもよい。
- ② 机上有る道具を用いて、概略の大きさ（長さ、太さ、幅）を計測し、図示すること。
- ③ 短い言葉や矢印などを用いて、図中に特徴を書き込むこと。特に、部品の動き方とばねの機構については明記すること。

【課題2】

課題1で収集した情報に基づき、サンプルの形状や部品がどのような役割を果たしているのか、どのような物体をはさむのに適しているのか、なぜそうなっているのかなどの観点から考察し、各サンプルについて、適切と考える使い方とその理由を、文章によりわかりやすく記述せよ。なお、適切と考える使い方は複数示してもよい。

【課題3】

A～Cのサンプルのうち1つを選択し、改善策や新しい使い方のアイデアについて、イラストや文章を用いて自由に提案せよ。そこでは、そのサンプルのどんな点に着目したのか、どのような使用場面を想定したのかについて、わかりやすく記述すること。また、解答欄の左上に、選択したサンプルのアルファベットを明記すること。

以上

サンプルA



サンプルB



サンプルC

